



令和6年度は、6年に1度のタイミングで3制度（医療・介護・障害福祉）の報酬が改定されるトリプル改定年となりました。変更届や体制届など、事業者の皆様は大変ご多用な年度初めになったこととお察しいたします。特に、今回は、医療系の改定時期と介護・障害の改定時期が少しずれたこともあり、いつもとは違う忙しさを感じたのではないかと思います。このお便りがお手元に届くころは、届出等も落ち着いた頃だと願い、今年度も3回程度活動報告をしてまいります。



会議・研修会等



4月16日 看取り支援制度説明会（小出病院外来）
4月18日 地域支援事業連絡会
4月24日 魚沼圏域在宅医療推進センター事務局会議
4月30日 新潟県コーディネーター基礎研修会
5月 1日 在宅医療推進センター運営協議会
5月 8日 看取り支援制度説明会（施設）

5月11日 在宅医療介護市民講座&地域医療魚沼学校特別講演会（小出郷文化会館大ホール）
5月13日 看取り支援制度説明会（診療所）
5月15日 看取り支援制度説明会（小多機・看多機・グループホーム）
5月22日 圏域在宅医療推進センター事務局会議
5月30日 在宅医療推進センターワーキングチーム



会議の内容等

R6. 5.1 在宅医療推進センター運営協議会

魚沼市の住民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりとその推進を図ることを目的に在宅医療推進センターが設置され、センターの円滑な運営を図るため運営協議会がおかれています。

運営協議会を年1回開催し、前年度の事業報告と収支決算見込み、新年度の事業計画及び収支予算を議題とし、意見交換を行いました。会議では、センターの多くの活動と実績についてそれぞれの委員より評価頂きました。課題は、やはり人材不足、人材の高齢化が共通認識として上がりました。

この課題に引き続き取り組みながらも、医療資源の少ない魚沼市で在宅医療の体制を整えるにはどうすればよいか、皆様のお力を借りながら、事業推進に努めてまいります。



★「魚沼圏域 入退院支援ガイド」活用の評価のため、アンケートにご協力頂きありがとうございました。集計結果は6月上旬にご協力いただいた機関に発信させて頂きました。

★「魚沼市立小出病院と在宅関係者のための入退院支援連携ガイド」の診療報酬改定による差し替えについて、データを居宅、包括、病院へ発信しました。紙ベースについては、準備が整い次第、発信いたします。

★「魚沼圏域 入退院連携ガイド」の報酬改定による差し替えについても居宅、包括、病院へ発信済みです。紙ベースについては、準備が整い次第、関係機関へ発信いたします。

在宅医療介護市民講座 & 地域医療魚沼学校特別講演会



令和6年5月11日(土) 14時～16時
大切な人の「生き切る」を支える ～死について語ることをタブーにしない～

人生の最期をどのように迎えるか話しあう「私の想いノート」の次のステップとして、心の奥深いところのケア（スピリチュアルケア）について学び、年齢や健康状態に関わらずいつか訪れる人生の最終段階について考える機会として企画しました。講師には、スピリチュアルケアを語るに、僧侶で看護師の玉置妙憂氏をお迎えし、座談会では医療介護のそれぞれの立場から終末期の人とその家族の心に寄り添う現場の想いを語り、玉置氏より助言を頂きました。来場者数は300人を超え、「生と死は同等に扱われるべきだと思った」「諸行無常の話の中で悲しみは一生続かない、変化するという言葉が胸に残りました」等他多数の好評価の感想を頂戴しました。

会議の内容等

在宅医療推進センターワーキングチーム会議



令和6年5月30日 第1回ワーキングチーム会議を開催しました。この会議は、平成30年度から、地域の各区分の代表の方からご参加いただき、情報共有しながら課題の検討、事業を進めています。今まで、主治医連絡表、情報共有ノートの作成や多職種連携検討会などの事業に取り組んでまいりました。昨年度は、人材不足をメイン課題とし検討結果を魚沼市に報告し回答を頂いてます。今年度は、メンバーの大半が入れ替わりましたが、今後も課題の解決に向けてより良い方向を模索し、成果物を生み出していきたいと思ひます。

【今後の会議等予定】

- 6月13日 新潟県在宅医療推進センター実践報告会
- 6月14日 在宅医療の基盤整備の戦略策定に関する意見交換会
- 6月19日 圏域在宅医療推進センター事務局会議
- 6月25日 訪看・施設看護・魚沼市消防本部三者意見交換会
- 6月26日 通所介護区分別会議参加
- 7月12日 地域（居宅介護支援事業所等）と小出病院意見交換会
- 7月27日 医師等多職種懇談会
- 9月12日 在宅医療推進センターワーキングチーム会議
- 10月2日 市民フォーラム



小さなことからどうぞご利用ください

医療と介護の相互理解や職種間の意思疎通が困難な場合など、多職種多機関が抱える課題に対して、より良い方向で検討できるようサポートします。

	月	火	水	木	金	土	日
大平	○	○	○	○	○		
中村		○	○		○		

令和6年4月1日からの勤務体制

大平 8:30～17:15

中村 8:30～16:15